

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期富里市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県富里市

3 地域再生計画の区域

千葉県富里市の全域

4 地域再生計画の目標

富里市では、1978年の成田空港開港などにより人口が急増してきたが、1995年以降、人口は伸び悩み、2005年の51,370人をピークに減少に転じ、令和2年国勢調査では49,735人まで減少している。住民基本台帳によると2021年8月末時点で49,511人となっている。国立社会保障・人口問題研究所準拠の将来人口推計によると2040年の総人口は、37,293人に減少することが見込まれている。

年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口は、1990年までは増加傾向にあったが、1990年を境に増加から減少に転じている。生産年齢人口は1980年以降増加していたが、2005年を境に減少に転じている。老年人口は生産年齢人口が順次老年期に入り、また、平均余命が延びたことから、一貫して増加を続けている。令和2年では年少人口5,289人、生産年齢人口29,957人、老年人口14,265人となっている。

「自然増減」については、高齢化等により死亡数が増加したが、出生数は400人前後でほぼ横ばいが続いており、2011年以前は減少傾向を示しつつも「自然増」であった。しかしながら、2012年以降は死亡数が出生数を上回る「自然減」の時代に入っており、2020年では出生数269人、死亡数432人で△163人の自然減となっている。なお、合計特殊出生率は2009年以降、徐々に上昇しており、千葉県内の他市町村と比べると比較的高い値を推移してきたが、2012年の1.35を境に減少に転じている。2020年には1.22となっている。

一方で、転入者数は2007年頃まで3,200人前後で横ばいが続いていたが2008年

以降は減少、また、転出者数は 2011 年頃まで 3,100 人前後で推移していたが 2012 年以降減少しており、2005 年以降の「社会増減」は転出超過（「社会減」）の傾向が続いている。2020 年では転入数 3,647 人、転出数 3,688 人で△41 人の社会減となっている。特に、大学卒業時の 20～24 歳から 25～29 歳になるときは、転出超過数が 2020 年で 66 人と男女とも大幅な転出超過を示しており、若者世代の市外への流出が懸念される。

今後、このまま人口減少が加速すると、地域の担い手減少や地域コミュニティの衰退といった課題が生じる恐れがある。このように出生率の低下や若者世代の市外流出などが要因で人口減少が進んでいる中、人口減少に歯止めをかけ社会を維持していくため、富里市では「富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、そこで掲げる施策を確実に実行することで、望ましい人口構成や地域経済の発展を目指していく。なお、これらの取組を推進するにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- 基本目標 1 誰もが活躍でき、生涯現役がかなうまち
- 基本目標 2 地域の魅力を磨き、人が行き交うにぎやかなまち
- 基本目標 3 子育て世代や子どもたちが快適に過ごせるまち
- 基本目標 4 新たな取組に挑戦し、未来につながる持続可能なまち

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	65歳健康寿命	男性82.47歳 女性84.91歳	男性83.24歳以上 女性85.39歳以上	基本目標 1
	市内事業所数	1,980事業所	2,300事業所	
イ	観光入込客数	18,116人	400,000人	基本目標 2
	新交通体系の確立	検討	確立	
ウ	婚姻数	256組	280組	基本目標 3
	転入者数	3,522人	4,200人	
エ	SDGs 未来都市構想 の提案	未実施	実施済	基本目標 4
	富里市を住みよいと回 答した市民の割合 (市民意識調査)	62.1%	72%	

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

富里市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 誰もが活躍でき、生涯現役がかなうまちづくり事業

イ 地域の魅力を磨き、人が行き交うにぎやかなまちづくり事業

ウ 子育て世代や子どもたちが快適に過ごせるまちづくり事業

エ 新たな取組に挑戦し、未来につながる持続可能なまちづくり事業

② 事業の内容

ア 誰もが活躍でき、生涯現役がかなうまちづくり事業

いつまでも富里市に暮らし続ける魅力ある地域にするために、成田空港の機能強化などの機会を捉えた就業環境を創出し、生涯現役で活躍し続けられる環境づくり、また、外国にルーツを持つ市民を含め、全ての市民が共に暮らしていける多文化共生のまちづくりに取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・地域ぐるみの介護予防・健康づくり活動
- ・すいか生産への支援
- ・外国人相談業務・行政サービス 等

イ 地域の魅力を磨き、人が行き交うにぎやかなまちづくり事業

農産物や歴史・文化などの魅力的な資源を活かし、人が訪れやすい都市基盤の整備を進めながら、観光振興や移住・定住促進に取り組み、さらに、大学や企業などとのパートナーシップを推進し、新たな視点や手法で、地域の魅力を磨き上げるための事業。

【具体的な事業】

- ・公共交通の利便性向上
- ・新たな観光・交流拠点施設「末廣農場」の展開
- ・民学産官連携の推進 等

ウ 子育て世代や子どもたちが快適に過ごせるまちづくり事業

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現させるとともに、多様化する子育てに係るニーズにきめ細やかに対応するため、子育てをしやすい環境の整備など総合的な支援を行うことにより、少子化の流れに歯止めをかけ、地域を担う子どもたちの成長を支える事業。

【具体的な事業】

- ・保育サービスの充実

- ・ジョイントスクール事業の推進
- ・環境を考慮した学校施設整備 等

エ 新たな取組に挑戦し、未来につながる持続可能なまちづくり事業

I C T環境の発展、脱炭素社会の実現や危機に対する地域の強靱化、効率的かつ安定的な農業振興など、持続可能な発展に不可欠な地域環境の整備に取り組むとともに、財政再建等を図り、行政運営においても持続可能な体制整備に取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・A I ・R P Aを活用した業務効率化
- ・資源循環システムの構築
- ・地域防災力の向上 等

※なお、詳細は第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

4,970,000 千円（2022年度～2026年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度8月頃に外部有識者等の参画を得ながら評価を行い、次年度の改善に向けたP D C Aサイクルを構築するとともに、D－O O D Aループを取り入れる。また、速やかにその内容を市公式ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2022年4月1日から2027年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで